

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2008

文化通

春

3月1日発行(季刊)



「そぞろ高松 ごゆるり参ろう」

たかまつ松平藩まちかどを漫遊帖2007ガイドブックより

住みなれた町を、市民ツアープロデューサーがガイドして歩く「まちかど漫遊帖」。歩くテンポじゃないと見えないこともたくさんある。参加してみると地元なのに、なにも知らないことに驚く。禅語の「脚下」。足元を見ようということか。

特別寄稿 まちかど漫遊帖「お寺って歴史のワンダーランド」
3月から5月までの茶華道・イベント情報を掲載
アーツフェスターたかまつ2008「ヤングヤング子供大茶会」の開催決定

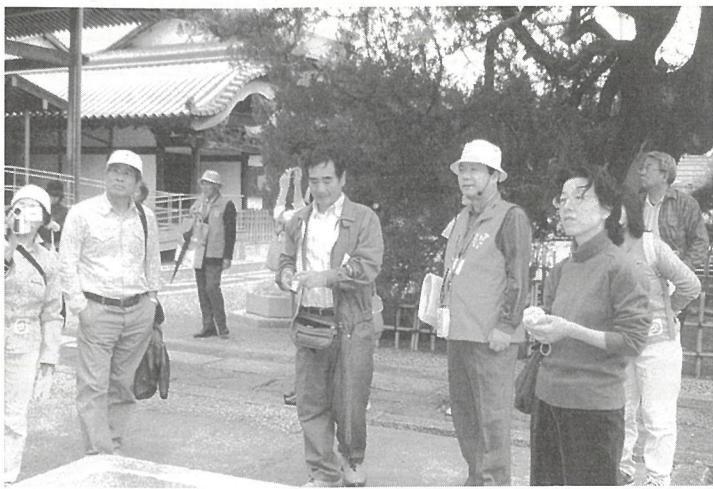


特別寄稿

お寺つて歴史のワンダーランド ～古刹をめぐり数寄屋造りの茶室でホッ！～

まちかど漫遊帖市民ツアープロデューサー
栗林公園ボランティヤ・ガイド

末澤保二



昨年秋、高松市内でミニ観光イベントとして開催されました「たかまつ松平藩まちかど漫遊帖」は、三十四コース設定のミニツアーレとして実施されました。

その中のひとつ当ミニツアーレは利剣山弘憲寺（錦町）、ついで松林山真行寺（扇町）、超世山淨願寺（番町）、龍松山法泉寺（同町）と巡り、最後に中條文化振興財団に立ち

寄り抹茶を頂くというルート設定になつております。

ここで各ガイド・ポイントについて、その概要をご紹介させて頂きります。

～三分のところに利剣山弘憲寺がゆつたりとした姿で佇んでおります。

当寺はもとは現在の丸亀市飯山町法軍寺の地に白鳳時代創建された法敷寺を生駒藩二代藩主正公が、慶長八年（二六〇三）に死去した先代親正公の菩提を弔うため

に高松の城下に移し、寺号も親正公の法名から二字をとり、弘憲寺と改めた寺でここには親正公ご夫妻の五輪塔が本堂裏に並んで佇んでおります。当寺は幸いにも昭和二十年七月の高松大空襲の際の焼失から免がれ、往時の落着いた風格を持つた寺として親しまれています。

寺は、真言宗高野山派に属し、ご本尊は

秘蔵の「木造不動明王立像」で、国的重要文化財に指定されており、ご開帳は毎年三回、一月、五月及び九月のそれぞれ二十七日に一般公開されております。

本堂の前方に地元庵治石で造られた五重塔が建立されております。高さ十六米、重さ四百トン、石造りの五重塔としては日本最大といわれ、戦争犠牲者の慰靈と平和を祈願して建てられたものであります。

客殿奥の庭園は、江戸中期に作られた小堀遠州流の枯山水式の庭であります。

幕末期、鳥羽伏見の戦いで朝敵となつた高松藩は、家老二人がその責を負つて切腹し、加えて賠償金十二万両を献上することでの汚名の挽回を図りました。

当寺の客殿は、切腹した家老の一人、小河又右衛門久成が慶應四年（一八六八）二月十八日、小野派一刀流上原達蔵の介錯のもと見事自刃した歴史を残す場所でもあります。

弘憲寺を辞して西南に徒歩で七〇八分

行つたところに松林山真行寺があります。

この寺は、浄土真宗大谷派に属し、ご本尊は阿弥陀如来となつております。創建は歴応四年（一三四一）、正賢が庵治沖の大島に法藏坊を建立したのが始まりで、これは中國四国地区での真宗寺院としては初めてと云われております。

当寺八世了現のとき、東本願寺創建者の教如上人仕え、東本願寺大谷派の末寺となり、その後玉藻城の東門附近に移りますが、延宝四年（一六七六）に現在地に移転し、本堂は享保五年（一七二〇）に再建された建物が、幸いにも昭和二十年七月の高松大空襲での被害は免れましたが老朽化が目立ち、昭和二十二年に大修理が行われました。

藩を征討するため土佐藩家老深尾丹波を官軍総督、乾（板垣）退助を参謀として約一千の兵が、高松の地に進駐してまいりますが、官軍は当寺を本陣として宿営し、書院では軍議が重ねられたという歴史を有する寺であります。本堂裏には小規模ながら小堀遠州流の池泉回遊式庭園が築庭されています。

つづいて東へ徒歩で十分位まいりますと高松高校北側の超世山淨願寺に辿り着きます。当寺のご本尊は阿弥陀如来、浄土宗知恩院派に属しております。文明年間（一四七〇頃）、僧源誉によつて鵜足津の地に創建された古刹であります。その後、生駒親正公が天正十六年（一五八八）に高松城を築城するにあわせ、高松に移転し、当初は現在の四番丁小学校北側附近に建てられました。生



駒藩がお家騒動の咎で秋田へ転封された後、正公及び三代目正俊公を祠る木造宝形造東讃十二万石の藩主として、水戸家から黄門の兄の松平頼重公が高松の地に参りまですが、頼重公は着任後ほどなく当寺を松平家の菩提寺と定め、寺の修築に努めました。しかし失火による焼失が生じ、明治二年（一八六九年）寺を現在の中央公園のほぼ全域を占める地に移転し、山門、本堂、書院及び靈屋等を構えた大伽藍が再興され、数々の大法要が営まれてまいりました。

幕末、高松藩が朝敵と定められたとき、第十二代藩主頼聰公は、慶應四年（一八六八年）一月十九日、自ら城を出て当寺に居を移して謹慎し、恭順の姿勢を示されました。又明治二十一年（一八八八年）第三次香川県が発足するに当たり、当寺に県庁が置かれ、約六年間、ここで政務が執られました。のちは高松市庁舎としても用いられた歴史を持つ 것입니다。

しかし、昭和二十年七月未明の高松大空襲により、寺は完全に焼失いたしました。戦後の都市計画事業により、寺城は縮小され、昭和二十四年現在地に移転を余儀なくされました。往時の大伽藍の面影は残されておりません。しかしながら平成八年再建されました。本堂は、小規模ながらも超モダンな建築様式で、私達の目を見張らせるものがあります。

茶室 晴松亭立札席にてのミニ茶席。
茶席に入るのは初めてという方も多い、気軽にお楽しみ頂けるようにと「天遊卓」にてのおもてなし。
ご参加の皆様、ありがとうございました。（財団事務局）



駒藩がお家騒動の咎で秋田へ転封された後、正公及び三代目正俊公を祠る木造宝形造東讃十二万石の藩主として、水戸家から黄門の兄の松平頼重公が高松の地に参りまですが、頼重公は着任後ほどなく当寺を松平家の菩提寺と定め、寺の修築に努めました。しかし失火による焼失が生じ、明治二年（一八六九年）寺を現在の中央公園のほぼ全域を占める地に移転し、山門、本堂、書院及び靈屋等を構えた大伽藍が再興され、数々の大法要が営まれてまいりました。

幕末、高松藩が朝敵と定められたとき、第十二代藩主頼聰公は、慶應四年（一八六八年）一月十九日、自ら城を出て当寺に居を移して謹慎し、恭順の姿勢を示されました。又明治二十一年（一八八八年）第三次香川県が発足するに当たり、当寺に県庁が置かれ、約六年間、ここで政務が執られました。のちは高松市庁舎としても用いられた歴史を持つ 것입니다。

しかし、昭和二十年七月未明の高松大空襲により、寺は完全に焼失いたしました。戦後の都市計画事業により、寺城は縮小され、昭和二十四年現在地に移転を余儀なくされました。往時の大伽藍の面影は残されておりません。しかしながら平成八年再建されました。本堂は、小規模ながらも超モダンな建築様式で、私達の目を見張らせるものがあります。

この寺を見学後、すぐ西側にある財團の茶室に足を運び、立札席にてお菓子とお茶を頂き、ホット息をついてツアーハンズ終了しました。以上がお寺めぐりミニツアーハンズの概要説明드립니다。

どうか少しでもご興味をお持ちの方は、一度ご参加頂ければ有難く存じます。

当ツアーハンズは今後とも実施して参りますので、一度ご参加頂ければ有難く存じます。

（略）

リレートーク

弘法大師と讃岐文化

四国学院大学人文学科教授
総本山善通寺庶務部長
真言宗威徳院住職
坂 田 知 己

現代社会は科学技術の恩恵を受け明治維新以降急速に進歩しました。その結果、世界有数の経済大国になり、物質的には何不自由のない社会となりました。しかし、昨今のわが国は、家庭崩壊や少子化問題、ゴミ問題、自然破壊による異常気象、生命の軽視など等の憂慮すべき問題が山積しています。

温暖な気候に恵まれた讃岐は、本来住みやすく、農業に適した地域で「毛作」が行われていました。そこで育まれてきた小麦によってかつては各家庭でうどんが作られました。しかし、後継者不足により段々と作られなくなつたのは残念なことです。

現在、讃岐はうどんブームで、県内のうどん屋は時間帯ともなれば大繁盛です。しかし、異常気象による農作物の不作は地球的規模で進んでいます。うどんの材料である小麦も例外でなく不作となり大きな影響がでるものと懸念されています。わが国の食料自給率がますます低水準になつていている原因は科学技術文明だけを重視した結果かもしれません。

今話題と成っている「讃岐うどん」は、弘法大師・空海が、大同元年（八〇六年）に中国・唐から帰朝した時に伝来したと伝えられています。それは近年、四千年前程

前年の楼蘭（ローラン）の遺跡から出土した小麦のDNAが讃岐の小麦のそれと同様に建立されたものであります。

この寺を見学後、すぐ西側にある財團の茶室に足を運び、立札席にてお菓子とお茶を頂き、ホット息をついてツアーハンズ終了しました。以上がお寺めぐりミニツアーハンズの概要説明드립니다。

どうか少しでもご興味をお持ちの方は、一度ご参加頂ければ有難く存じます。

当ツアーハンズは今後とも実施して参りますので、一度ご参加頂ければ有難く存じます。

（略）

初釜によせて

とき 平成二十年一月六日
ところ 財団茶室美藻庵・晴松亭

北村純子

家伝来、元伯小棗。茶杓は、利休作。こんなことは一生に一度かもしれない、まさに一期一会のひととき。

戊子歳、一月六日 財団の初釜に、初めて参加させていただきました。

本年のお席主は、平成十六年に金閣寺の茶室「常足亭」を再建なさった、当代髓一の数寄屋建築棟梁の木下孝一棟梁と、昨年の大茶会で大人気だった「花待草舎」の

主、表千家流の美澤宗包先生。木下棟梁は、財団のお茶室を建てられた方でもある

こと。

寄付の掛け物は、応挙の弟子、盧雪。睦みあう黑白の鼠の愛らしい仕草に心が和む一幅。毛氈に炭道具が莊られ、藤組の金敷の箱には利休所持、仙叟伝來の文字。三角形に近い焼〆の灰器には、長次郎…。

こんなお席に入らせてもらって良いのか

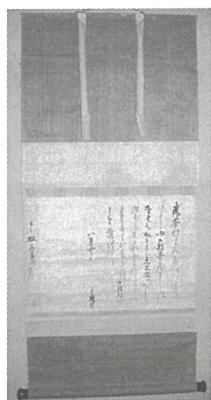
しらと怯む気持ちを盧雪の鼠たちに励まされながら、時間通りのご案内で待合に

待合掛は、利休さまの消息。大工藤五郎への呼び出し状。持つべき方が持たれた道具と感服。本日のお菓子は善哉。両端を落とした椿の葉の上にお香のように盛られた口直しが心憎い。露地に降り、どうぞ粗相がありませんようにと祈りつつ、いよいよ躊躇より本席に入ります。

本席の床には、本阿弥光悦、松花堂昭乘と並び寛永の三筆と言われた近衛信伊の和歌。竹の花入は、不昧公所持、銘「比じり」。花は、都の春(椿)、宿木。香合は、交趾「大獅子」。

ほの暗い小間の中、堂々たる床莊り。初めてお会いする木下棟梁は、どんな方かと気持ちも高まる中、静かにご亭主の登場。言葉少なに一心にお点前をすすめられます。本日は点出しはせず、皆様のお茶を練らせていただきますとのお言葉に感激。

お手元には約束どおり、鴻池



三月

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

三月十四日(金)午前十時～十二時

季節の和菓子を二・三点作ります。

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日

三月十八日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ 南方録を読み解く 伏見章先生

三月二十五日(火)午後二時三十分

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

三月一日(土)・二十一日(土) 午後二時

山下純子 古市千秋先生

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

三月一日(土)・二十一日(土) 午後二時

山下純子 古市千秋先生

四月

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生

四月一日(火)午前十時～午後三時

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

四月十一日(金)午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日

四月十五日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ 茶事のご案内

前回大好評でした初心者の方を対象とした茶事を致します。

ご希望の方は、財団までお申込み下さい。

日時 四月十九日(土)・二十日(日)

「正午の茶事」

両日とも午前十時～

美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

主席 武者小路千家 高畠茂

会費 一万五千円 (各定員十名)

財団行事予定

(三月～五月)



喫茶居（三十二） 「八栗の麓・仁庵」

弘法大師・空海の修行跡を訪ねる四国靈場八十八カ所巡りの旅は、阿波靈山寺を一番目の札所として結願の讃岐大窪寺まで続きます。最近になって増えた「歩き遍路」の人々に、温かい言をかける接待の風習を受け継いで、八栗の山裾に接待所仁庵が設けられました。色々な人との交流の場になればと、茶室や小さなホールを茶話会や展示会の場に提供しながら、なお、お遍路さんの休息所に開放したのは、ここから人家の途絶える第八十五番札所八栗寺への山道沿いという土地柄からでしょうか。訪れた夏の暑い日、冷たい飲み物がありますよと声をかけられた若者が、問わず語りに遍路歩きの動機を披露して、英気を養うことができましたと、さわやかな笑顔を残して腰を上げました。もう少しだから、がんばってね。主のやさしい声が背中を追った時、会津八のうた詠「わたつみのそこゆくうおのひれにさえ、ひげこのかねのりのみために」を鏽込んだ八栗寺の鐘の音が一つ響きました。

恒例の福引のこと。何が当たつてもうれしいもの。気に座が笑顔でほころびます。私は、パシミーナのストールが当たりました。緊張も解け、もうひとつのお楽しみ、点心席です。

立札席の床の間には、針屋黒添状を筆頭にお箱が並びます。小間での感激をかみしめつつお料理をいただきます。熱々の煮物碗のあとに、立派な鯛の姿焼を器に焼き物が出てびっくり。飯器もまわり大満足のお点心でございました。

財団の行事には、いつもうれしいびっくりを頂戴致しますが、年頭から生涯の想い出に残るような初釜に参加させていた

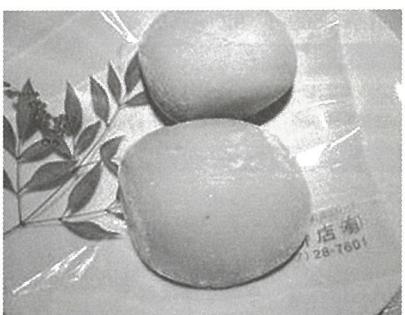
お菓子な話 その3

おみや

おみやと言えば個人宅ばかりじゃなく会社でも色々いただきます。県外の方からはその地の銘菓をいただいたらします。でも、県内の方からのおみやの定番は事務所の近くにお店のある「かまと」のブッセ。柔らかくて美味しい。ちょっと困るのは「瓦せんべい」。確かに美味しいんだけど、壯年の歯にはちょっとね。

今年初めていただいた好評なのが丸亀の浦島餅店の大福。大福といえば高齢者には、まわりのお餅が喉につかえそうなイメージだけど、この大福のお餅は薄くってこの世のものとも思えない柔らかさ。餡はほどよい甘さであつさ。口の中で幸せが広がっていく感じです。一個じゃもの足りなくって「おかわり」したくなる美味しさです。

後で調べてみたら「めざましTV」で紹介されたり歌舞伎の松本幸四郎さんのお気に入りだったり…。随分有名な大福だったみたいです。



すつきりとしておいしいお茶でした。
茶室はまさに異空間。夢見心地のままに広間の薄茶席へと席を移しました。
濃茶の後の薄茶席は、こうあるべきと、改めて感じた明るい華やかな雰囲気。心は楽しく軽やかに。

床は、即中斎筆「慶雲」。青漆爪紅及台子に、真葛の金襴手の皆具。御題「炎」にちなんだ、即中斎自画贊の風炉先の玉が印象に残りました。何よりのご馳走は美澤先生の笑顔。

主茶碗は、長左衛門、銘「埋み火」、替は、永樂「独樂」。お正月らしい取り合わせの中、おいしくお薄を頂戴いたしました。白地に松の緑の美しい数茶碗は、十四代理平さんのご子息作とお聞きし、うれしく感じたのは、私もひとつ年をとつたせいでしょうか。

◆和菓子講座 高橋初乃先生
五月九日(金)午前十時～十二時
◆月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
五月二十日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

五月

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
毎月第二第四土曜日
四月十二日(土)二十六日(土)午後二時
山下純子・古市千秋先生

五月二十一日(火)午前十時～十二時
高松市番町二丁目一一一
五月二十九日(木)午前十時～十二時
高松市番町二丁目一一一

◆第二回「茶の湯よもやま話」
講師 恵庵文庫 伏見章先生
五月二十七日(火)午後二時三十分
◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
毎月第一第四土曜日
五月十日(土)二十四日(土)午後二時
山下純子・古市千秋先生
五月二十一日(火)午前十時～十二時
高松市番町二丁目一一一

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。各講座等のお申し込み、お問合せは、事務局まで(水曜日休館)

五(087) 826・3355

茶華道ガイド

一茶菴流香川県支部 ☎(087)835-3140

3/9 栗林公園 月釜
席主:一茶菴流香川県支部
掬月亭 500円 9:00~16:00

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)865-3249

3/3 第7回春季いけばな展と茶会
高松市茶華道協会
茶席席主:行弘宗春
天満屋 500円 10:00~17:00

4/13 栗林公園 月釜
席主:江戸千家不白会
掬月亭 500円 9:00~16:00

表千家同門会香川県支部 ☎(087)822-3895

3/4 第7回春季いけばな展と茶会
茶席席主:表千家流
天満屋7階 500円 10:00~17:00

5/11 表千家流四季茶会 席主:山地宗美
中條文化振興財団 500円 9:00~15:00

5/11 栗林公園 月釜 席主:表千家流
掬月亭 500円 9:00~16:00

琴平月釜茶道会 ☎(087)58-9551

5/11 松尾寺月釜 席主:宮武宗隆
松尾寺 500円 9:00~15:00

跡小原流高松支部 ☎(087)833-9274

3/16 「いざと云う時の為に一日急救講座」
席主:高松支部
高松市総合福祉社会館5F第6室 700円
10:00~12:00

5/28~6/1 小原流みんなの花展 高松南地区展
席主:高松支部
丸亀町ヨンデンプラザ 無料 10:00~17:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

3/9 故大石宗清追悼茶会
席主:大石宗清社中、坂出分会、坂出青年部
坂出翠松閣 500円 9:30~15:00

3/16 月釜 鍬音寺分会 席主:山崎宗友
働く婦人の家 500円 12:00~15:30

3/23 香川支部 利休忌 席主:多度津分会
多度津町福祉センター 2,000円 10:00~15:00

3/30 月釜 坂出分会
席主:山崎宗信、宮武宗房、石井宗桂
勤労福祉センター 500円
10:00~14:00

4/29 濑戸大橋展望茶会 席主:坂出分会C班
瀬戸大橋記念公園 300円 10:00~15:00

5/4 月釜 善琴分会 席主:稻毛宗敏
善通寺樟蔭軒 500円 9:00~14:00

5/4 お城まつり協賛茶会 席主:横田宗成
丸亀市生涯学習センター2階 500円
10:00~15:00

5/11 月釜 観音寺分会 席主:岡田宗美
働く婦人の家 500円 12:00~15:30

5/11 月釜 善琴分会 席主:宮武宗隆
琴平町松尾寺 500円 9:00~15:00

5/25 月釜 坂出分会 席主:岡本宗代
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)834-8433

3/1 第7回春季いけばな展と茶会

茶席主席:河瀬宗知
天満屋7階 500円 10:00~17:00

3/2 淡交会月釜 席主:高原宗知
天神会館 前売500円・当日600円
9:00~16:00

4/6 淡交会月釜 席主:浦辺宗艶
天神会館 前売500円・当日600円
9:00~16:00

5/4 淡交会月釜 席主:有馬宗敏
天神会館 前売500円・当日600円
9:00~16:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)889-1973
3/22 第140回象谷忌茶会
席主:石州流琴松会
玉藻公園披雲閣 1,000円 9:00~15:30

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

4/20 創立71周年記念茶会
席主:石原宗恵、和敬会有志
玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

4/27 きりしま茶会 席主:三兎会
屋島神社 500円 9:00~15:00

4/27 西徳寺月釜(東讃茶道懇話会)
席主:白井宗恵、佐々木宗美

池戸西徳寺 500円 9:00~16:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

3/2 月釜 席主:官休庵 小池公江
池戸西徳寺 500円 9:00~16:00

4/27 月釜 席主:石州 若草会
池戸西徳寺 500円 9:00~16:00

5月 月釜 席主:裏千家 鈴木浩子
池戸西徳寺 500円 9:00~16:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

3/2 香川官休会 月釜 席主:杉山恵子
香川県文化会館 500円 9:00~15:00

3/2 第7回高松天満屋春季いけばな展と茶会
茶席主席:嶺松会
天満屋7F 500円 10:00~17:00

4/6 香川官休会 月釜 席主:在松会
無量寿院 500円 9:00~15:00

5/4 香川官休会 月釜 席主:山地久子
無量寿院 500円 9:00~15:00

※4月、5月に茶事(初心者向け)のご案内があります。(財団行事予定をご参考下さい。)

上記予定は変更する場合もあります。

イベントガイド

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

3/30 都美弥会 おどりぞめ 13:00~■
4/6 絹舞会 おどり初め 13:00~■
5/24 劇団カッパ座公演 14:00~●

中津万象園・丸亀美術館 ☎(0877)23-6326

5/1~18 墨の世界「桶笠幸三展」(仮題)
書に親しみ、書に遊び、書に学ぶ。墨の世界に情熱
を注ぐ桶笠幸三氏の格調高い墨線の芸術美を展覧
9:30~●

丸亀市教育委員会文化部文化課 ☎(0877)24-8822

3/4 伊藤芳輝 フラメンコギターコンサート
飯山総合学習センター1Fロビー 18:30~■

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

2/23~3/9 香川県文化協会西讃支部美術展
丸亀市立資料館 9:30~■
5/3~4 丸亀市民展覧会
丸亀市民会館・丸亀市生涯学習センター他
9:00~■

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

2/3~3/23 エイヤーリーサ・アハティラ展 10:00~●

2/3~3/23 猪熊弦一郎展
Confusion and Order [混乱と秩序]
10:00~●

3/8 くるくるミラクル万華鏡
2階造形スタジオ 10:00~(要申込) ■

4/6~6/22 ノイエ・フォトグラフィー
-1920~30年代のドイツ写真一
10:00~料金未定

丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

3/29 綾歌中学校吹奏楽部
第一回定期演奏会 大ホール 14:00~■
4/27 第11回大正琴の集い・大正琴発表会大ホール
11:30~●

4/29 大正琴無料体験学習会 小研修室
9:00~■

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

<大ホール>
3/9 讃岐まんのう太鼓20周年記念公演
13:30~●

3/23 丸亀市少年少女合唱団第6回定期コンサート
14:00~●
3/29 丸亀高校吹奏楽部第26回定期演奏会
18:00~■

丸亀市立資料館 ☎(0877)22-5366

3/22~4/20 おもしろ発見 丸亀城展 1階展示室
9:30~■

あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

3/16~30 林孝彦展 11:00~■
4/13~27 様々な邂逅展 11:00~■
5/15~29 周豪展 11:00~■

ぎやらりい風 ☎(0877)86-2112

3/4~16 「桜」写真展 東城範明の写真
10:00~■
3/18~23 心憩う 柴田英子展 ししゅう、彫物
10:00~■

4/22~5/4 住田佳瑞子油彩展 油彩画
10:00~■

5/9~18 神田勢津子と萩の会々員による押花アート展
10:00~■
5/20~25 築山窯やきもの展 築原拓生のやきもの
10:00~■

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

3/1~4 琴平あかね保育園園児作品展 9:00~■
3/7~11 まんのう町絵画同好会展 9:00~■
3/14~18 河端一海陶展 9:00~■
3/21~25 くみひも展 9:00~■

3/28~4/1 型染 河合素子展 9:00~■
4/4~8 三人展 洋画・陶芸・染めもの 9:00~■
4/11~15 青木邦子 型絵染作品展 9:00~■
4/18~22 田中将博ガラス展 9:00~■
4/25~29 堀家照子押花作品展 9:00~■
5/2~6 花あたりえ展 9:00~■

5/9~13 瓦・造形会 こんびら展 9:00~■
5/16~20 パソコンで創るmono展 II 9:00~■
5/23~27 土洋会絵画作品展 9:00~■
5/30~6/3 貞廣裕子 あそぼうよ展 9:00~■

イベントガイド

香川県県民ホール ☎ (087)823-3131

3/29 KJO合奏コース公開レッスン&基礎コース発表会 アクトホール 13:30~■
3/22 おくだ健太郎 歌舞伎入門講座
～歌舞伎を10倍楽しく観る方法～
第1リハーサル室 14:00~■

アルファあなたぶきホール ☎ (087)823-3131

4月より 香川県県民ホールから名称変更
5/15 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」
大ホール 18:30~■
5月 第2回玉藻寄席 柳家花緑独演会
「花緑ごのみ」小ホール 14:00~■

香川県文化会館 ☎ (087) 831-1806

2/2~3/2 藤川栄子と香川の女流画家たち 9:00~■
香川県歴史博物館 ☎ (087)822-0002
1/2~3/16 部門展 讀岐の埴輪～埴輪が語る讀岐の古墳時代～ 9:00~■

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

4月より香川県歴史博物館から名称変更
4/5~5/18 特別展「静かなる情熱—藤川勇造とロダンの美」 9:00~■
4/8~8/31 企画展「瀬戸大橋の島々 I いにしえ人の歩いたあと」 9:00~■
4/24~6/29 企画展「徳川家康と松平頼重」 9:00~■
4/13 鑑賞講座「近代彫刻のたのしみ～入門編」 13:30~要観覧券
5/4 講演会「芸術家藤川勇造～高松、パリ、東京、その才能を愛した人達～」 13:30~■

高松市美術館 ☎ (087)823-1711

<2F展示室>
1/12~3/28 第5期常設展(現代美術と漆芸) 9:30~■
2/22~3/23 太田儔展(漆芸) 9:30~■

高松市歴史資料館 ☎ (087) 861-4520

<サンクリスタル高松4F特別展示室>
2/9~3/23 第47回特別展「布をめぐる旅 Voyage a NUNO」 9:00~■
4/19~6/1 「新収蔵品展」(仮称) 9:00~■

菊池寛記念館 ☎ (087) 861-4502

<サンクリスタル高松3階第1集会室>
3/1 文芸講座「栗山・源内と菊池寛」
講師:大西良生 13:30~■
<サンクリスタル高松3階視聴覚ホール>
3/8 朗読劇 親子で楽しむ菊池寛子どもげきじょう 10:30~■
3/8 朗読劇 菊池寛名作劇場 13:00~■

高松テルサ ☎ (087)844-3516

<テルサホール>
3/13 高松短期大学音楽科
第31回卒業演奏会 18:30~■
3/16 第6回SATOの会コンサート 14:00~■
3/29 小松玲子パーカッション&マリンバコンサート 9:00~■

玉藻公園 ☎ (087) 851-1521

4/1~10 桜見物夜間無料開放 桜の馬場
5/5 玉藻公園一般開放記念無料開放 園内
<披雲閣>
3/1 マイシアターまつり
3/9 まちかど漫遊帖フォーラム
3/22~23 香川の漆器まつり
3/28~30 古木愛好会

4/27 俳人協会 俳句大会

5/10~14 キルト展
5/25 かまと茶会

オリーブホール ☎ (087)861-0467

3/14 「SOUL'd OUT」 19:00~■
4/13 「THE BACK HORN」 18:00~■
5/17 「TOKYO NO1. soul SET」 18:00~■
5/20 「安達久美」 時間未定 ■
5/31 「友部正人」 時間未定 ■

ミューズホール ☎ (087)833-0013・0014

3/2 民踊舞踊の発表会 12:00~■
3/8 アンサンブル ピエール・リヴィエール演奏会 18:00~■
3/9 ARC発表会(ヴァイオリン、チェロ、コントラバスの発表会) 14:15~■
3/20 第12回ミューズホール春の音楽祭 13:00~■

高松市教育委員会文化振興課 ☎ (087)839-2636

3/9 SWJO LIVE! 2008 ~ジャズの生演奏をあなたに~ 高松市庵治文化館 11:00~■

3/23 ふるさと探訪「藩政時代の上水道跡を歩く」
栗林公園北口に集合し、亀井戸・大井戸・香川用水資料館などを巡る 9:30~■

(財)高松市文化芸術財団 ☎ (087)825-5010

<サンポートホール高松 大ホール>
3/16 瀬戸フィルハーモニー交響楽団 岡山フィルハーモニック管弦楽団 ジョイントコンサート 14:00~■
5/24 Meet the Music vol.1
関西フィルハーモニー管弦楽団 Meet the Classic 15:00~■

(有)かわり園 ☎ (087)821-5957

3/12~16 古今茶之湯総合展(四百点)添金席有り 御坊町福善寺2階 10:00~■

高松天満屋 ☎ (087)812-7111

2/28~3/4 第7回春季いけばな展と茶会 7階催場
いけばな展 10:00~19:00
茶席 10:00~17:00
いけばな展・茶席 各500円

<5階美術画廊>

3/4~10 アンティークマイセン逸品展 10:00~■
3/11~24 現代油絵作家による魅惑のガラス絵展 10:00~■
3/25~31 第25回日本伝統漆芸展 10:00~■
4/1~7 横山尚人グラスデコレール展 10:00~■
4/8~14 佐々木裕而展(仮称) 10:00~■
4/15~21 日本の美展 10:00~■
4/22~28 吉村楽入茶陶展 10:00~■

ヨンデンスラザ高松 ☎ (087)851-3863

3/1~2 讀岐を描く絵画展 「会員30名による香川県内の風景画30点の展示」
3/11~16 まんでがん讀岐の土作陶展 「会員15名による陶芸作品約120点の展示」
3/18~24 捫水会展 「会員21名による水彩画約40点の展示」
3/25~30 「第7回」2008年選抜写真展 「会員20名による写真約30点の展示」

ヨンデンスラザ・サンポート ☎ (087)811-3744

4/5 「竹笛おじさんの鳥笛工作教室」
~ういすや小鳥の鳴き声をまねてみよう~
講師:山田尚先生 13:00~ 先着100名■

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

<特別展示室>
2/16~3/16 いつか見たナイスな道具たち 9:00~■

ストーンミュージアム ☎ (087)871-2200

4/26~6/29 石の彫刻展2008 9:00~■
土庄町文化協会 ☎ (0879)62-7013

3/2 第25回土庄町芸能まつり 土庄町立中央公民館 12:30~■
4/7 放哉忌(尾崎放哉の法要等)
小豆島尾崎放哉記念館 10:30~■

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

5/11 ラ・レゾナンス・アンサンブル 3rd コンサート 14:00~■
5/17 上野由恵フルートリサイタル 18:30~■

東かがわ市ニューターリスマ協会 ☎ (0879)23-8557

2/28~3/3 引田ひなまつり
引田の古い町並みの家々に雛人形の展示、アトラクションあり
引田駅前より町並み一帯 10:00~一部有料

3/22~23 讀岐の手仕事展 香川県在住の匠4人による展示会。木工家具、和紙灯り、漆器など
讃州井筒屋敷与之蔵 10:00~■

4/3~20 花さんぽ 一花くらぶ作品展一押し花・プリザーブドフラワー・ドライフラワーの作品展示
讃州井筒屋敷母屋 10:00~(水曜休) ●
4/20 花あそび体験会
①プリザーブドフラワーのアレンジ
②押し花のアロマキャンドル
讃州井筒屋敷 10:30~●

とらまるバベットランド ☎ (0879)25-0055

3/5~9 「かあちゃんだーいすき!」「クロスケのおさんぽ」他 ほんわかシアター 5~7日 10:30~、8~9日 13:30~●
3/12~16、20~25~28、4/12~13、19~20、23~27、29~5/2 「アラジン、はじめての冒險」とらまる人形劇団 3/12~14、4/23~25、4/30~5/2 10:30~●
その他 13:30~●

3/22~23 「ぶんぶく茶がま」他 人形芝居くりちゃん 13:30~●

3/29~30、5/14~18 「仙人の知恵袋」人形劇団ばんび 13:30~・5/14~16日のみ 10:30~●

4/1~4 「はっけよーい、のこった!」 どらまる人形劇団 13:30~●

4/5~6 「さんまいのおふだ」他 よろず劇場とんがらし 13:30~●

5/3~6 「おたまじゃくしの101ちゃん」他 人形劇団むすび座 13:30~●

5/8~11 「まいごのおまわりさん」 よろず劇場とんがらし 8~9日 10:30~・10~11日 13:30~●

5/21~25 「ジャングル少年」「ねずみのすもう」 人形劇団パン 21~23日 10:30~・24~25日 13:30~●

5/28~6/1 肩掛け人形芝居「さんまいのおふだ」、腹話術「ハロー!カクロー」人形芝居燕屋 28~30日 10:30~・31~6/1 13:30~●

坂出市社会教育課 ☎ (0877)44-5026

<坂出市万葉文館>

4/20 万葉短歌大会 時間・料金未定

5/11 万葉茶会 時間・料金未定

5/25 万葉ウォーク(沙弥島散策) 時間・料金未定

かまとホール ☎ (0877)46-2178

2/9~3/9 池原昭治童絵展 10:00~●

3/11~4/20 安本一夫 漆の美 10:00~●

4/26~5/25 玉藻焼 二代 氏家常美 10:00~●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第58号は6月1日発行です。次の期間(6月1日から9月上旬)の情報を5月10日までにお知らせ下さい。

上記予定は変更する場合もあります。

TEL (087) 826-2212

お知らせ

高松市民文化祭アーツフェスタたかまつ2008 「ヤングヤング子供大茶会」の開催決定!

★開催日程／平成20年6月8日(日)
★時 間／午前10時～午後3時
★会 場／サンポートホール高松1階
【ミニミニケーシヨンプラザ】

企画の内容と目的

子供による子供のためのお茶会です。イスに座つてお茶をいただく立札席を特設して、普段いろんな流派でお茶を習っている子供たちがお茶を点てたり、お運びをしたりの素敵なお茶会です。

また、子供たちに茶の湯を体験して欲しいと、和三盆糖を使った干菓子作りや自分でお茶を点てて飲むという体験コースも用意しました。

出来的だけ多くの子供たちに体験して欲しいという願いで、この企画をたてました。ぜひこの機会に子供たちに参加して茶の湯を体験させてあげて下さい。

参加募集のお願い

ヤングヤング子供大茶会を一緒に手伝い下さる子供たちを募集しています。流派は問いません。普段からお茶のお稽古をされている子供さんと親御さん、もしくは先生にお願いします。

財団友の会「晴友会」の三月末の更新時期がまいりました。
同封の郵便局の振替用紙にて年会費三千円をお振込下さい。

(平成20年4月1日～平成21年3月31日まで)

茶事へのお誘い



茶の湯講座

「茶の湯よもやま話」開講のお知らせ

子供大茶会の詳細につきましては、左記の予定で実行委員会の会議を開催して決定したいと存じますので、それまでに参加の申し込みをお願いいたします。

前でも平点前でもかまいません。

平成十六年秋より始まった「南方録を読み解く」講座も、いよいよ本年度の三月で終了します。忍庵文庫の伏見章先生が案内する利休の茶の湯世界は、時に奥深く、時に脱線しながら楽しい講座となりました。さて、「参加の皆様の強い要望もあり、改めて茶の湯についてのお話を、お願いすることとなりました。題して「茶の湯よもやま話」。

茶道具の見方や歴史、取り合わせの妙など、いろいろな観点から教えて頂きます。興味のある方は、是非この機会にご参加下さい。お試し参加も可能です。(抹茶付)

子供大茶会運営会議

■日時／平成20年3月2日(土)

午後六時より

■場所／財団法人中條文化振興財団

茶室 晴松亭

■参加お申し込み・お問い合わせは

財団事務局内、
〔ヤングヤング子供大茶会実行委員会〕まで

電話〇八七(八二六)三三五五

受講料／友の会二五〇〇円 一般二〇〇〇円

〔声・情報お寄せください〕
TEL (087) 8006・3355
FAX (087) 8006・0212
info@chujo-zaidan.or.jp

編集後記

ご当地検定試験が行なわれているのをご存知でしょうか。一定以上の点数が取れれば、公式性はないものの「認定証」がいただけるそうです。特に人気のある古都などの試験には多くの人がチャレンジしているようです。

試験内容は、その土地の地理・歴史・文化はもちろん行政的な数値にまで及ぶ幅広い設問となつていて、受験者も大変!!かなりマニアックだと思います。

受験資格は特に無く、老若男女を問わず、しかも、その土地の住人でなくとも良いというのです。皆様の中にも受験された方がいらっしゃるかもしれませんね。

各地の案内書や概要など参考となる資料を手に持ち、実際にその地を訪れ、歩き、いろいろなことを知つていくのはとても楽しいものです。

まずは、身近なまちあるきから始めてみませんか?季節は春ですよ。

〔声・情報お寄せください〕
TEL (087) 8006・3355
FAX (087) 8006・0212
info@chujo-zaidan.or.jp